

急変の予測  
予防のカギ

# バイタルサインから もっと気づけるをお手伝い



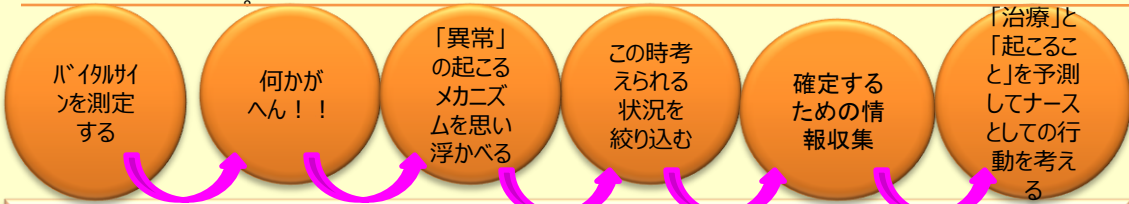
認定看護師 CN NEWS VOL.17  
集中ケア認定看護師編  
福山市民病院 看護部

認定看護師  
ニュースレター  
2016年8月  
第17号



バイタルサインは、生きている証。多くの情報を見るには、看護師に教えてもらいます。せつかくのバイタルサイン「はか」って「だけ」になつてませんか？患者さんのために、きちんと活用していきましよう。正しい解釈して、看護師の行動に意味がなければ、また、ほんの少しのバイタルサインの変化に気づき、必要ない情報を収集すること、重要なことで、異常に気が付くこともできます。

集中ケア認定看護師は、バイタルサインから患者さんの状態の変化に気づいたら、どのようにしたらよいのか、バイタルサインを測定する人の「備え」や「測定後の行動」についての順序と道筋を示すお手伝いをしています。新入さんや病棟でリーダーを始め、困った事があつた方など、日々の判断にお困りの方、「振り返り」や「症例検討」してみませんか。事前の準備は要りません。一度相談してみ。



患者様の変化の気づきを考えて看護師の行動につなげるをお手伝い

おしらせ

ワンポイントアドバイス

変わって行くイベント

♪9月28日「フォローアップ研修」

対象：入職2年目看護師

内容：臨床で活かすフィジカルアセスメント  
後日対象者にお知らせがあります。

♪「専門領域：人工呼吸器について」

日程：未定

対象：人工呼吸器を使用する病棟看護師  
人工呼吸管理に興味のある看護師  
事前参加申し込み要

随分前に学校を卒業された方は、吸痰は清潔操作だから  
気管→口腔と教育されたと思います。

最近では、鼻腔→口腔→カ上部→気管の順に  
気管吸引を行うようになっています。

気管チューブを留置していても、カの上には唾液や鼻汁が溜まります。  
気管から先に吸引を行うと、肺・気管が陰圧となり、吸引の刺激で咳が  
起こり、口腔側から気管へと垂れこんでしまいます。

これでは、吸引の意味がなくなってしまいます。  
きちんとした効果を発揮するためには、正しい手技と知識が大切にな  
ってきます。

日々変わっていく看護のポイントを  
今後みなさんにお伝えしていきたいです。

集中ケア認定看護師は、当院すべての  
病棟の患者さまを対象にしています。  
「患者様の何か変」に対応いたします。  
何か困ったこと、相談したい事があ  
りましたら、3200までご連絡ください。